

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC59)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年12月19日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (7.0)	12/11	0	7.8	33.95	0	0	0	0
		10	7.8	33.95	0	0	0	0
		20	7.9	33.99	0	0	0	0
		30	7.9	34.02	0	0	0	0
標津 (9.0)	12/16	0	3.7	31.82	0	0	40	0
		5	3.7	31.82	0	0	60	0
		10	3.7	31.82	0	0	40	0
		15	3.7	31.82	0	0	50	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは根室海峡(標津)でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC58)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年12月12日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.5)	12/9	0	1.6	31.98	0	0	10	0
		5	4.5	33.58	0	0	0	0
		10	5.7	33.15	0	0	0	0
		13	5.7	33.15	0	0	0	10
サロマ湖 (3.3)	12/6	0	1.7	31.63	0	0	40	0
		3	1.8	31.69	0	0	10	0
		6	2.1	31.82	0	0	20	0
		9	2.1	31.84	0	0	20	0
		12	2.1	31.84	0	0	10	0
		15	2.3	31.90	0	0	10	0

Di

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC57)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年11月26日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (3.4)	11/21	0	4.6	31.97	0	0	50	0
		10	5.2	32.50	0	0	40	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC56)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年11月20日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (4.0)	11/18	0	7.5	33.07	0	0	0	0
		5	8.7	33.28	0	0	0	0
		10	8.8	33.23	0	0	0	0
		13	8.8	33.25	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月の太平洋東部(厚岸)海域で
 麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC55)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年11月18日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (20.0)	11/11	0	14.5	33.94	0	0	0	0
		10	14.5	33.93	0	0	0	0
		20	14.5	33.93	0	0	0	0
		30	14.3	33.93	0	0	0	0
常呂 (9.0)	11/12	0	7.9	32.14	0	0	100	0
		10	8.1	32.39	0	0	50	10
		20	9.0	32.80	0	0	50	0
		30	9.9	33.10	0	0	0	0
サロマ湖 (11.5)	11/12	0	8.9	33.17	0	0	30	0
		3	9.1	33.36	0	0	20	0
		6	9.5	33.52	0	0	10	0
		9	9.6	33.55	0	0	0	10
		12	9.6	33.58	0	0	0	0
		15	9.6	33.59	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、11月の日本海南部(江差)、網走中部(常呂)およびサロマ湖で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC54)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年11月12日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	11/5	0	13.5	34.46	0	0	0	0
		10	13.6	34.49	0	0	0	0
		15	13.6	34.49	0	0	0	0
		20	13.6	34.48	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月上旬の宗谷北部(猿払)海域では
 麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC53)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年11月7日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (5.0)	11/5	0	10.9	33.06	0	0	20	0
		5	11.6	33.14	0	0	0	0
		10	11.6	33.22	0	0	0	0
		13	11.6	33.25	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月の太平洋東部(厚岸)海域で
 麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC52)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2019年10月31日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (7.0)	10/23	0	15.4	30.12	0	0	10	10	Dm
		10	16.5	33.54	0	0	0	0	
		20	16.9	34.21	0	0	0	10	Dro
		30	16.3	34.23	0	0	0	0	
増毛 (13.0)	10/25	0	16.2	33.63	0	0	0	0	
		10	16.7	34.05	0	0	0	0	
		20	16.8	34.08	0	0	0	0	
		30	16.7	34.08	0	0	0	0	
能取湖 (9.3)	10/28	0	13.2	33.65	0	0	0	10	Di
		10	13.1	33.66	0	0	10	0	
厚岸 (2.0)	10/29	0	12.9	32.13	0	0	0	0	
		5	13.2	33.21	0	0	10	0	
		10	13.5	33.22	0	0	0	0	
		13	13.5	33.24	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ロツンダータ、ミトラ、インファンディブラなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC51)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年10月25日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (4.5)	10/21	0	13.6	31.99	0	0	0	0
		5	13.6	32.92	0	0	0	0
		10	13.7	33.23	0	0	0	10
		13	13.7	33.39	0	0	0	0

Dm

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

10月の太平洋東部(厚岸)海域で
 麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・ミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC50)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年10月21日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (11.0)	10/11	0	20.2	33.93	0	0	0	0
		10	20.1	33.93	0	0	0	0
		20	20.1	33.96	0	0	0	0
		30	20.0	33.96	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月の日本海南部(江差)海域で
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC49)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年10月17日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 —	10/8	0	16.2	34.45	0	0	0	0
		10	15.9	34.41	0	0	0	0
		15	15.7	34.33	0	0	0	0
		20	15.6	34.28	0	0	0	0
標津 (7.0)	10/11	0	16.5	33.34	0	0	0	0
		5	16.5	33.38	0	0	0	0
		10	16.9	33.71	0	0	0	0
		15	16.9	33.75	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、宗谷北部(猿払)海域と根室海峡(標津)海域で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年10月11日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (3.0)	10/7	0	15.9	31.48	0	0	0		0
		5	16.2	32.01	0	0	0		20
		10	16.4	33.24	0	0	0		10
		13	16.1	33.46	0	0	0		0

Dro10,Dm10
Dro10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

10月の太平洋東部(厚岸)海域で
 麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・ロツンダータとミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年10月7日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (9.0)	10/1	0	18.6	33.85	0	0	0	0
		10	18.7	34.17	0	0	0	0
		20	18.6	34.21	0	0	0	0
		30	18.0	34.22	0	0	0	0
サロマ湖 (11.5)	10/1	0	18.0	33.10	0	0	0	0
		3	18.0	33.11	0	0	0	0
		6	17.9	33.25	0	0	0	0
		9	17.8	33.27	0	0	0	0
		12	18.2	33.46	0	0	0	0
		15	17.7	33.46	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、網走中部(常呂)海域とサロマ湖海域で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年10月3日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
浜益 (2.5)	9/26	0	19.2	29.06	0	0	0		0
		10	20.1	33.60	0	0	0		10
		20	20.1	33.57	0	0	0		0
		30	20.1	33.57	0	0	0		0

Dm10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンデルリウム・タマレンセ =旧名 プロトニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月下旬の石狩湾(浜益)海域で
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC45)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年9月30日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (4.0)	9/26	0	15.6	31.57	10	0	0	0
		5	16.5	33.22	0	0	0	0
		10	16.4	33.30	0	0	0	0
		13	16.2	33.35	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月の太平洋東部(厚岸)海域で
麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年9月25日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (22.0)	9/17	0	23.5	34.05	0	0	0	0
		10	23.5	34.07	0	0	0	0
		20	23.0	34.08	0	0	0	0
		30	18.8	34.37	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月の日本海南部(江差)海域で
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2019年9月24日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (8.0)	9/18	0	20.8	33.80	0		0	0	0
		10	20.9	33.96	0		0	0	0
		20	20.2	34.06	0		0	0	10
		30	18.2	34.09	0		0	0	0
サロマ湖 (6.0)	9/18	0	19.9	33.17	0	Aa33,000	20	0	30
		3	19.9	33.19	0	Aa34,200	0	0	30
		6	19.9	33.20	0	Aa28,800	10	20	0
		9	19.9	33.21	0	Aa11,400	0	0	10
		12	19.9	33.27	0	Aa2,000	0	0	20
		15	19.9	33.33	0	Aa480	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、網走中部(常呂)海域とサロマ湖海域で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ミトラ、ロツンダータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2019年9月18日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (13.0)	9/11	0	22.5	33.32	0		0	0	0
		10	22.8	33.82	0		0	0	0
		20	22.7	34.06	0		0	0	0
		30	22.0	33.91	0		0	0	10
標津 (15.0)	9/13	0	18.6	33.26	0		0	0	20
		5	18.5	33.26	10		0	0	80
		10	18.5	33.41	0	Aa 80	0	10	60
		15	18.3	33.44	0		10	20	60
能取湖 (5.6)	9/13	0	20.5	33.16	0	Aa 144,000	50	0	70
		10	20.1	33.29	0	Aa 44,000	110	10	70

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月の根室海峡(標津)海域で
麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ロツンダータ、ミトラなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年9月10日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 -	9/3	0	21.0	33.73	0	0	0	0
		10	21.0	33.73	0	0	0	0
		15	20.9	33.69	0	0	0	0
		20	20.9	33.67	0	0	0	0
厚岸 (4.0)	9/5	0	19.9	30.72	0	0	350	0
		5	16.6	32.84	10	0	210	10
		10	15.9	33.29	10	10	60	0
		13	15.7	33.31	0	10	0	0

Dru

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月の太平洋東部(厚岸)海域で
麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータが主に出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年9月3日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (11.5)	8/26	0	22.1	33.65	0	0	0	0
		10	21.9	33.60	0	0	0	0
		20	21.4	33.89	0	0	0	0
		30	21.2	33.97	0	0	0	20

Dru10, Dm10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンデルリウム・タマレンセ =旧名 プロトニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の石狩湾(浜益)海域で
 麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ルジエイ、ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年8月28日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (14.0)	8/20	0	24.4	34.03	0	0	0		0
		10	24.2	34.08	0	0	0		0
		20	24.2	34.11	0	0	0		0
		30	21.4	34.04	0	0	0		0
紋別 (12.0)	8/19	0	19.2	33.96	0	0	0		70
		15	18.5	34.02	0	0	0		90
		25	18.3	34.00	0	0	10		20
		39.1	18.3	34.00	0	0	0		30
能取湖 (4.8)	8/26	0	20.9	32.20	10	0	20		0
		10	19.1	33.33	0	Aa30	10		30
厚岸 (3.0)	8/26	0	17.8	25.52	0	20	190		0
		5	15.7	32.23	40	50	120		10
		10	15.4	32.63	30	0	40		10
		13	15.0	32.55	0	0	0		0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の能取湖海域および太平洋東部(厚岸)海域で
 麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ロツンダータ、ミトラなどが出現しています。

P

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年8月26日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
頓別	8/19	0	18.1	34.15	0	0	0		10	Dm10
—		10	18.1	34.10	0	0	0		30	Dm30
		20	17.9	34.07	0	0	10		10	Dro10
		30	17.8	34.07	0	0	0		50	Dro10, Dm40

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロゴニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の宗谷南部(頓別)海域では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ロツンダータ、ミトラなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年8月22日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
網走 (10.0)	8/21	0	18.4	33.89	0	0	20	30	Dro10, Di10, Dm10
		10	18.0	33.96	0	0	10	20	Dro10, Dm10
		20	18.0	33.96	0	0	0	20	Dm20
		30	17.2	34.01	0	0	0	0	
常呂 (9.0)	8/21	0	18.7	33.93	0	0	0	50	Dro10, Dm40
		10	18.7	33.97	0	0	0	10	Dm10
		20	18.7	33.95	0	0	0	10	Dro10
		30	18.5	34.04	0	0	10	10	Dro10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の網走南部(網走)および網走中部(常呂)海域では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ロツンダータ、ミトラなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年8月16日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
増毛 (24.0)	8/8	0	23.8	33.86	0	0	0		40
		10	22.1	34.00	0	0	0		30
		20	21.0	33.93	0	0	0		10
		30	19.3	34.20	0	0	0		0
猿払 (一)	8/6	0	20.8	33.61	0	0	0		0
		10	20.4	33.59	0	0	0		0
		15	20.2	33.60	0	0	0		0
		20	20.1	33.61	0	0	0		0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の日本海北部(増毛)および宗谷北部(猿払)海域では、
 麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ロツンダータとミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2019年8月9日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.0)	8/5	0	19.5	31.83	20	0	410	20	Dn
		5	16.4	32.42	80	10	540	40	Dn20, Dru20
		10	13.2	32.79	50	120	450	60	Dn
		13	12.0	32.56	40	180	910	50	Dn
標津 (10.0)	8/7	0	13.8	32.15	0	0	70	0	
		5	11.8	32.32	0	0	10	0	
		10	9.1	32.64	0	10	30	0	
		15	9.2	33.02	0	0	40	0	
能取湖 (6.1)	8/6	0	24.7	33.81	1380	0	0	0	
		10	20.2	33.73	30	0	10	0	
常呂 (15.0)	8/6	0	21.1	34.08	0	0	0	0	
		10	20.5	34.02	0	0	20	0	
		20	19.5	34.08	0	0	0	10	Dru
		30	18.7	34.09	0	0	0	0	
サロマ湖 (11.3)	8/6	0	23.3	33.73	10	0	0	0	
		3	23.1	33.67	0	0	0	0	
		6	21.1	33.75	0	0	0	0	
		9	19.7	33.81	0	0	0	0	
		12	18.7	33.84	0	Aa10	0	0	
		15	17.3	33.84	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクセス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが、太平洋東部(厚岸)と能取湖海域で出現しました。

毒性値の変化に注意してください。

下痢性貝毒プランクトンは主にデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびノルヴェジカなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月29日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
網走 (16.0)	7/29	0	20.0	33.81	0	0	10		0
		10	18.4	33.97	0	0	0		10
		20	17.5	34.00	0	0	0		0
		30	17.5	34.00	0	0	0		0
		底	11.5	34.05	10	0	0		0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが、網走南部(網走)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータ、ロツンダータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月29日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
猿払 —	7/23	0	18.7	33.70	0	0	0		10	Dro
		10	17.7	33.68	0	0	0		0	
		15	17.5	33.67	0	0	0		0	
		20	17.5	33.67	0	0	0		0	
厚岸 (2.0)	7/25	0	18.8	30.84	30	0	60		0	Dn Dn Dn
		5	13.8	32.15	120	180	1300		140	
		10	10.9	32.50	0	30	510		10	
		13	9.3	32.61	0	0	100		10	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtが、太平洋東部(厚岸)海域で出現しました。
 毒性値の変化に注意してください。

下痢性貝毒プランクトンは主に厚岸でデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月25日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
増毛 (21.0)	7/19	0	20.5	34.14	0	0	0		0
		10	19.3	34.22	0	0	0		0
		20	19.0	34.26	0	0	0		0
		30	18.7	34.24	0	0	0		0
浜益 (7.0)	7/19	0	19.3	33.29	0	0	0		0
		10	19.2	33.98	0	0	0		0
		20	18.5	33.90	0	0	0		0
		30	16.6	34.03	0	0	0		10
能取湖	7/23	0	17.8	33.74	30	20	120		0
		10	17.6	33.72	10	40	20		10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント
 麻痺性貝毒プランクトンAtが、能取湖海域で出現しました。
 毒性値の変化に注意してください。

下痢性貝毒プランクトンは主に能取湖でデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月17日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別 —	7/11	0	14.6	34.02	0	0	0	0
		10	14.5	34.04	0	0	0	0
		20	13.1	34.06	0	0	0	0
		30	12.9	34.07	0	0	0	0
紋別 (8.7)	7/12	0	14.6	33.92	170	0	0	0
		15	12.6	34.01	10	30	0	0
		25	12.5	34.01	0	0	0	0
		41	11.8	34.00	0	10	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtが、網走北部(紋別)海域で出現しました。

毒性値の変化に注意してください。

下痢性貝毒プランクトンは紋別でデイノフィシス・フォルティが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月18日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
常呂 (11.0)	7/16	0	14.0	33.92	20	0	0	0	Dru
		10	13.9	33.90	10	0	10	10	
		20	12.9	34.04	0	0	0	0	
		30	12.9	34.03	0	0	0	0	
		40	12.9	34.04	10	10	0	0	
		42	12.9	34.02	0	0	0	0	
サロマ湖 (4.7)	7/16	0	16.4	33.17	0	10	0	0	
		3	15.9	33.45	0	0	20	0	
		6	15.4	33.61	0	10	10	0	
		9	14.3	33.68	0	60	30	0	
		12	14.0	33.86	0	0	10	0	
		15	13.3	33.73	0	10	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、網走中部(常呂)海域で出現しています。
 サロマ湖海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティとアキュミナータが主に出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月17日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (16.0)	7/5	0	18.7	34.30	0	0	0	0
		10	17.8	34.18	0	0	0	0
		20	15.1	34.32	0	0	0	0
		30	13.2	34.34	0	0	0	0
増毛 (23.0)	7/9	0	19.1	33.63	0	0	0	0
		10	17.1	33.82	0	0	0	0
		20	16.0	33.94	0	0	10	0
		30	13.7	34.06	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、日本海南部(江差)海域で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは増毛でデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月11日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (5.0)	7/8	0	15.3	31.15	80	0	1300	0	
		5	12.5	31.37	40	10	810	120	Dn
		10	9.8	31.87	10	0	860	30	Dn
		13	8.7	32.40	0	0	920	20	Dn
能取湖 (6.5)	7/10	0	17.7	33.40	0	40	190	20	Dru
		10	14.2	33.55	40	280	440	20	Dru

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rugei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、7月上旬の太平洋東部(厚岸)および能取湖海域に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルウェジカ、ルジエイなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月10日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
網走 (10.0)	7/8	0	13.4	33.16	730	0	0	10		Dru
		10	12.9	33.86	1020	0	10	10		Dru
		20	8.4	33.62	2520	0	10	0		
		30	8.1	33.82	1130	0	0	10		Dn
		底	8.1	33.89	200	0	0	20		Dn10, Dru10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、7月上旬の網走南部(網走)海域に出現しています。
 濃密に出現しているので毒性値の変化に注意が必要です。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ノルヴェジカおよびルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月8日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 —	7/2	0	13.9	33.69	0	0	0	0
		10	12.9	33.71	0	10	0	0
		15	12.1	33.71	0	10	0	0
		20	11.9	33.72	0	10	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、7月上旬の宗谷北部(猿払)海域で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月3日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (9.0)	7/2	0	11.8	33.01	40	0	20	0	
		10	8.5	33.02	1130	0	20	20	Dru
		20	11.2	33.86	880	0	10	20	Dru
		30	11.1	33.84	500	20	0	0	
サロマ湖 (8.0)	7/2	0	17.3	33.29	170	0	10	0	
		3	16.3	33.32	50	40	20	0	
		6	14.7	33.29	20	120	10	0	
		9	14.1	33.61	0	20	0	10	Di
		12	13.4	33.62	0	60	0	0	
		15	12.7	33.68	0	40	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、7月上旬の網走中部(常呂)およびサロマ湖海域に出現しています。
 特に常呂では濃密に出現しており、出荷自主規制値を超える毒化に注意が必要です。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年7月2日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江 差 (12.0)	6/21	0	16.2	34.20	0	0	0		0
		10	16.0	34.20	0	0	0		0
		20	14.6	34.21	0	0	0		0
		30	12.1	34.23	0	0	0		0
猿 払 (-)	6/25	0	11.6	33.73	0	10	0		10
		10	11.7	33.80	0	0	0		0
		15	11.7	33.80	0	0	0		0
		20	11.6	33.79	0	0	0		0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rugei ディノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の日本海南部(江差)および宗谷北部(猿払)海域では
 麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは猿払でディノフィシス・フォルティなどがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年6月28日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
浜益 (8.0)	6/21	0	16.0	33.54	0	0	0	30		Dro
		10	15.2	33.96	0	0	0	20		Dro10, Di10
		20	14.7	33.99	0	20	0	0		
		30	12.1	34.08	0	20	0	0		
増毛 (16.0)	6/21	0	15.4	33.82	0	0	0	10		Dru
		10	13.7	33.91	0	20	0	0		
		20	12.4	34.04	0	190	70	10		Dru
		30	11.2	34.03	0	40	0	0		
標津 (10.0)	6/25	0	11.7	31.9	0	0	0	0		
		5	10.0	32.5	10	20	20	0		
		10	9.3	32.7	0	10	20	10		Dn
		15	9.5	32.9	0	10	40	20		Dru10, Dm10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の根室海峡(標津)海域で
 麻痺性貝毒プランクトンAtが発生しました。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・ノルウェジカ、アキュミナータ、ロツンダータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年6月26日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (5.5)	6/24	0	16.3	33.2	10	10	10	10	Dro
		10	14.0	33.4	20	0	10	0	
網走 (8.0)	6/24	0	13.3	33.84	30	30	20	10	Dru
		10	13.1	33.56	50	40	10	0	
		20	11.6	33.81	60	140	0	20	Dru
		30	11.3	33.82	10	0	0	10	Dru
サロマ湖 (5.0)	6/18	0	13.4	33.25	0	20	0	0	
		3	13.4	33.31	0	30	0	0	
		6	13.5	33.32	0	20	10	0	
		9	13.6	33.37	0	10	0	0	
		12	13.6	33.37	0	10	0	0	
		15	13.4	33.35	0	10	0	0	
常呂 (7.0)	6/19	0	12.2	33.58	10	0	0	0	Dru
		10	11.0	33.69	0	10	0	10	
		20	10.6	33.76	0	0	0	0	
		30	10.6	33.80	0	10	0	0	
厚岸 (4.5)	6/24	0	12.2	31.39	90	10	250	20	Dn
		5	10.7	31.97	50	0	330	10	Dn
		10	7.4	32.29	20	0	440	120	Dn
		13	6.9	32.44	0	0	50	0	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

6月中下旬の能取湖海域、網走南部(網走)海域、網走中部(常呂)海域および太平洋東部(厚岸)海域で麻痹性貝毒プランクトンAtが発生しました。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・ノルウェジカ、アキュミナータ、ノルウェジカなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年6月21日
 中央水産試験場資源管理部

地 点	月日	深度	水温	塩分	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At	Df	Da	D属の他種
紋別 (12.5)	6/14	0	12.9	33.79	0	0	0	0
		15	12.1	33.87	0	40	10	0
		25	11.7	33.90	0	50	0	0
		36.6	10.5	33.99	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月の網走北部(紋別)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年6月19日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (9.5)	6/13	0	15.0	33.25	0	10	20	0
		10	13.2	33.49	0	20	30	0
頓別 —	6/11	0	11.9	33.97	0	0	0	0
		10	11.8	33.92	0	10	0	0
		20	11.3	34.01	0	0	0	0
		30	11.2	33.99	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

6月上旬の能取湖海域と宗谷南部(頓別)海域では
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・ノルヴェジカとアキュミナータが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年6月12日
 中央水産試験場資源管理部

地 点	月 日	深度	水温	塩分	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At	Df	Da	D属の他種	
増毛 (8.0)	6/4	0	14.7	33.33	0	0	0	10	Dro
		10	14.0	33.56	0	20	20	0	
		20	13.7	33.67	0	100	30	0	
		30	13.3	33.70	0	70	10	0	
猿払 (-)	6/4	0	12.8	-	0	0	0	10	Dru
		10	12.5	33.45	0	0	0	0	
		15	12.4	33.50	0	20	20	0	
		20	12.3	33.54	0	10	10	0	
厚岸 (7.0)	6/10	0	11.3	30.57	10	0	110	0	Dn50,Dru10
		5	10.7	31.45	10	0	30	60	
		10	8.7	31.92	0	0	20	30	
		13	6.9	31.91	10	0	80	40	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月上旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。
 日本海北部(増毛)および宗谷北部(猿払)海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティが増毛で、アキュミナータが厚岸で
 それぞれやや多く出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年6月7日
 中央水産試験場資源管理部

地 点	月日	深度	水温	塩分	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At	Df	Da	D属の他種
常呂 (15.0)	6/4	0	12.9	33.72	0	0	0	0
		10	12.0	33.78	0	0	0	0
		20	11.1	33.91	0	0	0	0
		30	10.7	33.90	0	0	0	0
サロマ湖 (10.0)	6/4	0	16.0	32.71	0	0	0	0
		3	13.9	32.43	0	0	0	0
		6	11.6	32.92	0	0	0	0
		9	11.1	33.06	0	0	0	0
		12	10.5	33.15	0	10	10	0
		15	8.8	33.08	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス

コメント

6月上旬の網走中部海域(常呂)とサロマ湖では
 麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年6月4日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (6.0)	5/28	0	12.0	31.38	0	0	30	90	Dn
		5	8.7	31.45	0	0	10	20	Dn
		10	5.2	32.07	0	0	0	10	Dn
		13	4.5	32.34	0	0	0	0	Dn
標津 (11.0)	5/30	0	8.4	30.85	0	0	0	0	
		5	3.5	32.32	0	0	20	0	
		10	3.0	32.39	0	0	0	0	
		15	3.0	32.38	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の太平洋東部(厚岸)海域と根室海峡(標津)海域では
 麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年5月29日
 中央水産試験場資源管理部

地 点	月日	深度	水温	塩分	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At	Df	Da	D属の他種
紋別 (7.5)	5/20	0	8.8	33.57	0	0	0	0
		15	7.7	33.84	0	0	10	0
		25	7.0	33.73	0	0	10	0
		35.8	6.9	33.71	0	0	0	0
猿払 -	5/21	0	9.0	33.63	0	0	0	0
		10	9.0	33.59	0	10	10	0
		15	9.0	33.58	0	10	0	0
		20	8.9	33.58	0	0	0	0
網走 (8.0)	5/27	0	10.5	33.78	0	0	0	10
		10	9.7	33.80	0	0	0	0
		20	9.3	33.82	0	10	0	0
		30	9.2	33.82	0	0	0	0
		底	9.1	33.83	0	0	0	0
能取湖 (7.0)	5/27	0	15.8	32.66	0	0	40	0
		10	10.0	33.13	0	0	30	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の網走北部(紋別)、宗谷北部(猿払)、網走南部(網走)、能取湖では
 麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・フォルティやアキュミナータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年5月24日
 中央水産試験場資源管理部

地 点	月日	深度	水温	塩分	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At	Df	Da	D属の他種
頓別	5/13	0	7.2	33.68	0	10	20	0
		10	7.0	33.80	0	0	20	0
		20	6.8	33.82	0	0	20	0
		30	6.6	33.95	0	0	10	0
サロマ湖 (6.5)	5/20	0	11.0	32.06	0	0	40	0
		3	10.7	32.05	0	0	20	0
		6	10.6	32.09	0	0	50	0
		9	8.5	32.23	0	0	40	0
		12	7.6	32.36	0	0	10	0
		15	6.8	30.33	0	0	20	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月中旬の宗谷南部(頓別)、サロマ湖では
 麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・アキュミナータが主に出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年5月17日
 中央水産試験場資源管理部

地 点	月日	深度	水温	塩分	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At	Df	Da	D属の他種
増毛 (10.0)	5/9	0	10.5	31.70	0	10	0	0
		10	—	—	0	40	50	0
		20	—	—	0	40	20	0
		30	—	—	0	20	10	0
サロマ湖 (8.0)	5/14	0	8.4	32.02	0	0	60	0
		3	8.1	32.08	0	0	70	0
		6	7.7	32.13	0	0	30	0
		9	7.4	32.41	0	0	0	0
		12	6.9	32.48	0	0	30	0
		15	6.3	32.37	0	0	0	0
江差 (12.0)	5/10	0	10.4	34.15	0	0	0	0
		10	10.0	34.15	0	0	0	0
		20	9.9	34.15	0	10	0	0
		30	9.0	34.11	0	0	0	0
浜益 (6.5)	5/13	0	11.1	31.33	0	0	10	0
		10	9.6	33.77	0	50	10	0
		20	9.3	33.98	0	150	30	20
		30	8.6	33.99	0	130	10	0

Dru

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月上～中旬の日本海北部(増毛)、サロマ湖、日本海南部(江差)、石狩湾(浜益)では麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・フォルティやアキュミナータが主に出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年5月15日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 -	5/7	0	8.1	32.85	0	0	40	0
		10	7.9	33.14	0	0	0	0
		15	7.6	33.31	0	0	30	0
		20	7.6	33.32	0	0	0	0
能取湖 (7.0)	5/13	0	7.5	31.95	0	0	0	0
		10	6.6	32.46	0	0	70	10

Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月上旬の宗谷北部(猿払)、能取湖海域では
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・アキュミナータが主に出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年5月10日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (13.0)	5/7	0	3.5	32.45	0	0	160	0
		10	3.4	32.50	0	0	90	0
		20	4.7	33.32	0	0	10	0
		30	4.8	33.36	0	0	70	0
厚岸 (3.0)	5/8	0	8.5	30.29	0	0	0	0
		5	6.8	31.15	0	0	0	0
		10	3.4	32.07	0	0	0	0
		13	3.0	32.19	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月上旬の網走中部(常呂)、太平洋東部(厚岸)海域では
 麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは常呂でディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年5月7日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖	4/23	0	6.3	31.10	0	0	0	0
		10	2.2	31.91	0	0	0	0
紋別 (7.4)	4/12	0	2.1	31.85	0	0	0	0
		15	-0.4	32.29	0	0	0	0
		25	-0.5	32.31	0	0	0	0
		37	-0.2	32.47	0	0	0	0
江差 (6.5)	4/22	0	11.0	33.24	0	0	0	0
		10	10.7	33.72	0	0	20	0
		20	9.9	34.08	0	0	0	0
		30	8.8	34.16	0	0	0	0
猿払 —	4/23	0	6.1	32.81	0	0	150	0
		10	6.1	32.99	0	0	60	0
		15	6.1	33.08	0	0	150	0
		20	6.0	33.13	0	0	70	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の能取湖、網走北部(紋別)、日本海南部(江差)および宗谷北部(猿払)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは江差と猿払でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2019年4月25日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (5.0)	4/17	0	6.5	33.52	0	0	10	0
		10	6.1	33.96	0	0	110	0
		20	6.0	34.02	0	0	10	0
		30	5.5	34.02	0	0	0	0
増毛 (5.0)	4/17	0	7.6	30.60	0	0	170	0
		10	6.4	33.04	0	0	90	10
		20	5.1	33.69	0	0	50	0
		30	4.5	33.76	0	0	20	0
常呂 (8.0)	4/23	0	2.9	32.10	0	0	40	0
		10	0.5	32.51	0	0	30	0
		20	0.2	32.96	0	0	20	0
		30	1.5	33.00	0	0	10	0
サロマ湖 (3.0)	4/23	0	5.5	30.08	0	0	0	0
		3	5.0	30.43	0	0	10	0
		6	2.4	31.51	0	0	0	0
		9	1.9	31.76	0	0	0	0
		12	1.1	31.95	0	0	0	0
		15	0.7	32.17	0	0	0	0
厚岸 (5.0)	4/19	0	4.4	30.67	0	0	0	0
		5	3.9	31.68	0	0	0	0
		10	2.4	31.88	0	0	0	0
		13	2.1	32.09	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェンカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

4月中～下旬の石狩湾(浜益)、日本海北部(増毛)、網走中部(常呂)、サロマ湖および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは石狩湾～サロマ湖海域で主にディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年4月19日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
網走 (5.0)	4/17	0	1.7	32.12	0	0	0		20	Dru
		10	0.8	32.28	0	0	10		0	
		20	0.8	32.27	0	0	0		0	
		30	0.7	32.29	0	0	0		0	
サロマ湖 (3.0)	4/17	0	3.9	28.55	0	0	0		0	
		3	2.6	30.36	0	0	20		0	
		6	2.1	31.38	0	0	0		0	
		9	2.0	31.50	0	0	0		0	
		12	2.0	31.74	0	0	0		0	
		15	1.7	31.83	0	0	0		0	
常呂 (8.0)	4/17	0	2.8	31.36	0	0	0		0	
		10	1.4	32.17	0	0	0		0	
		20	1.2	32.22	0	0	10		0	
		30	0.9	32.33	0	0	0		0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の網走南部(網走)、網走中部(常呂)およびサロマ湖海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは増毛でデイノフィシス・アキュミナータとルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年4月18日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
猿払 —	4/9	0	3.3	33.96	0	0	0		0
		10	3.3	33.97	0	0	20		0
		15	3.3	33.96	0	0	0		0
		20	3.3	33.96	0	0	0		0
頓別 —	4/11	0	0.2	32.31	0	0	0		10
		10	0.5	33.41	0	0	0		0
		20	2.5	33.81	0	0	0		0
		30	3.0	33.90	0	0	0		0

Dru

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の宗谷北部(猿払)および宗谷南部(頓別)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは増毛でデイノフィシス・アキュミナータとルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年4月11日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (8.0)	4/2	0	4.2	33.10	0	0	40	0
		10	4.2	33.84	0	0	170	0
		20	4.3	33.92	0	0	80	0
		30	4.4	33.96	0	0	0	0
厚岸 (4.5)	4/8	0	1.9	31.53	0	0	0	0
		5	1.2	31.98	0	0	0	0
		10	0.6	32.30	0	0	0	0
		13	0.6	32.30	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の日本海北部(増毛)および太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは増毛でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年3月25日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (15.0)	3/18	0	-0.7	31.53	0	0	0	0
		5	-0.7	31.53	0	0	10	0
		10	-0.7	31.56	0	0	0	0
		15	-0.8	31.57	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブーラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェーシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

3月の根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年3月7日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (6.0)	3/5	0	0.1	31.88	0	0	0	0
		5	-0.1	31.91	0	0	20	0
		10	-0.2	32.00	0	0	0	0
		14	-0.6	32.19	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブーラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェーシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

3月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年2月27日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (11.0)	2/22	0	2.1	33.81	0	0	0	0
		10	2.1	33.82	0	0	10	0
		20	2.3	33.91	0	0	0	0
		30	3.1	34.05	0	0	0	0
標津 (19.0)	2/25	0	-0.8	31.98	0	0	10	0
		5	-1.0	31.93	0	0	10	0
		10	-1.0	31.93	0	0	10	0
		15	-1.0	31.93	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月の日本海北部(増毛)と根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年2月20日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (6.0)	2/7	0	-0.8	32.31	0	0	0	0
		5	-0.6	32.14	0	0	0	0
		10	-0.6	32.14	0	0	10	0
		14	-0.6	32.17	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブーラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェーシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年1月30日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (7.0)	1/23	0	4.0	33.75	0	0	20	0
		10	4.1	33.80	0	0	10	0
		20	4.3	33.82	0	0	0	0
		30	4.3	33.82	0	0	0	0
標津 (11.0)	1/28	0	0.4	32.05	0	0	10	0
		5	0.5	32.06	0	0	10	0
		10	0.5	32.07	0	0	10	0
		15	0.5	32.08	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンデルリウム・タマレンセ =旧名 プロトニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の日本海北部(増毛)と根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2019年1月21日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (10.0)	1/10	0	0.8	32.47	0	0	0	0
		5	1.1	32.56	0	0	0	0
		10	1.5	32.60	0	0	0	0
		13	1.7	32.70	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)